

仏事コーディネーター 資格取得者を訪ねて

BUTSUJI-COORDINATOR

日本の心（八王子・相模原・青梅・飯能・多摩）

「資格がもたらす安心と信頼」

いみな
伊皆康彦氏
沖津知一氏

日本の心は、今年創業八十四周年を迎え、仏壇・墓石・葬儀・仏事をトータルサポート、首都圏に五店舗（八王子本店・相模原店・青梅店・飯能店・聖蹟桜ヶ丘店）を展開、東京都下の三多摩エリアを中心に、埼玉県、神奈川県、山梨県に至る広範なエリアをカバーしており、親切丁寧な接客と暖かみのあるサービスは多くの人々に親しまれてい



左から伊皆康彦氏、沖津知一氏（日本の心八王子本店にて）



店舗外観（日本の心八王子本店）

一氏（飯能店副店長）。伊皆氏は仏事コーディネーター（平成二十四年取得）・お墓ディレクター一級を取得、沖津氏は仏事コーディネーター（平成二十四年取得）・お墓ディレクター二級を取得。伊皆氏は八王子市の出身、高校卒業後、都内でビルメンテナンスの仕事が続けるが、十年前、地元で役に立てる企業を探し、同店に入社。

沖津氏は小金井市の出身、サービス業に従事したのち、縁あって十年前、同店に入社。その後二人は、仏事コーディネーターも一緒に受験しており、年齢も近く、切磋琢磨の関係だが、フレンドリーな面も併せ持っている。伊皆氏は、「お客様に感謝していただく仕事ですね、他にこのような仕事はないと思います」と話す。

さらに前職においてさまざまな資格を取得してきたが、仏事に関して新しい分野であり、受験当日はたいへん緊張したと当時を振り返る。来年は葬祭ディレクター二級を受ける予定。沖津氏は「仏壇を購入されるお客様は、グリーンを必要とされるケースが多く、お客様を支えることが私たちの使命だと思っています。お客様の心の拠り所になれば」と話す。同店は葬祭、墓石も含め、事業の拡大を図っているが、資格の重要性はスタッフ一人ひとりが認識している。

今年も同店から数名のスタッフが仏事コーディネーターの受験にチャレンジするが、併せて全国の受験者に向けて伊皆氏と沖津氏に励ましたのメールをお願いました。「自信にも繋がります、何より、お客様に安心していただけます」と話す。資格の魅力と利点は奥が深い。